

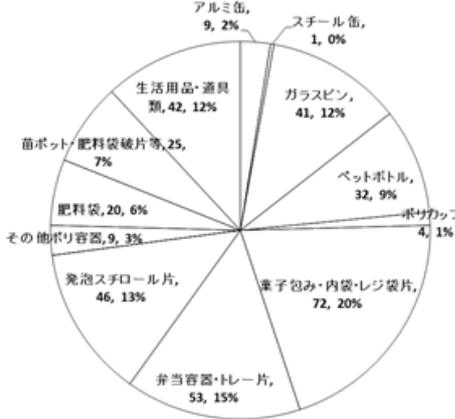


宇部市の水がめ「小野湖」で清掃活動を行いました。

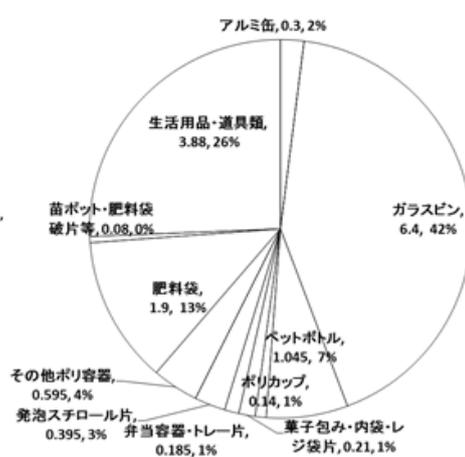
8 月 26 日、宇部自然保護協会主催で、毎年 8 月に行われる小野湖清掃に参加しました。写真後列左の 3 名は隣接の上流側の小入江のごみ回収を行いました。回収したごみの総個数 354、総重量 15.1kg でした。水位が高かった昨年の個数 636、重量 24kg と比較して少なめでした。



小野湖小入江回収ごみ
2018.8.26 総個数 354



小野湖小入江の回収ごみ
2018/8/26 総重量 15.1kg



今回は、ガラスビンの重量が多いですが、これまで水位が高くて沈んでいてとれなかったものを回収したためと思われます。生活用品・道具類の割合も例年、多めです。目立ったのは肥料袋が 20 枚もあったことです。農業関係者の注意を喚起したいと思います。ともあれ、わずか 15m 程度の幅の入り江に 1 年間に、2016、17、18 年調査でそれぞれ 13kg、

24kg、15kg の人工ごみが堆積していたこととなります。写真はさらに上流側隣接の入江で作業されていた別働隊と合流して、2 つの入江で回収したごみを前に記念撮影したものです。水位が低かったので岸沿いを歩いて移動できました。香川高校生徒会の 5 名も手伝ってくれました。



(津島 榮・浮田 正夫)

The 28th ECO ICHIBA Festival in UBE

とき: 10月27日(土曜日) 10時~15時
ところ: 銀天街エコプラザ、にぎわい宇部
中央街区公園「わいわいばあ〜く」
銀天街アーケード



エコ市場

他にも多数出店
飲食コーナー有ります!



スライム作り他
宇部工業高校 (アーケード)

エコ市場の
次の日は!

ステージイベント

- 〈 開会あいさつ 〉 Opening
- 10:00~10:30 宇部太鼓
 - 10:30~11:00 ハロウィン・キッズ・ファッションショー
 - 11:00~11:30 大濱 亮
 - 11:30~12:00 エコ教室(紙芝居)
 - 12:00~12:30 Aイ笑楽
 - 12:30~13:00 ¾てーげーず+
 - 13:00~13:30 グリーンエコシンガーズ
 - 13:30~14:00 エコ教室(家庭の省エネ)
 - 14:00~14:30 親子コーラス

まちなかおそうじ隊

まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。メンバーはその日集まってくださった方々。楽しく「まち」をきれいにしませんか? おそうじ後はお茶会でホッとひと息♪

10月28日(日)
15:00~
学習館前集合
申込・道具不要

参加者にはエコハ券または、はつらつポイント進呈



宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com>

中村建設株式会社

我が社は創立1959年、零細企業の普通の建設会社でした。今では、少々変わった事を行っています。

「想像から創造へ NICE TRY」これが我が社の掛け声です。

①建設業で困った問題 ②こんな物あったらイナ
これを出発点として、建設業プラス研究開発を行っています。

【研究開発について】

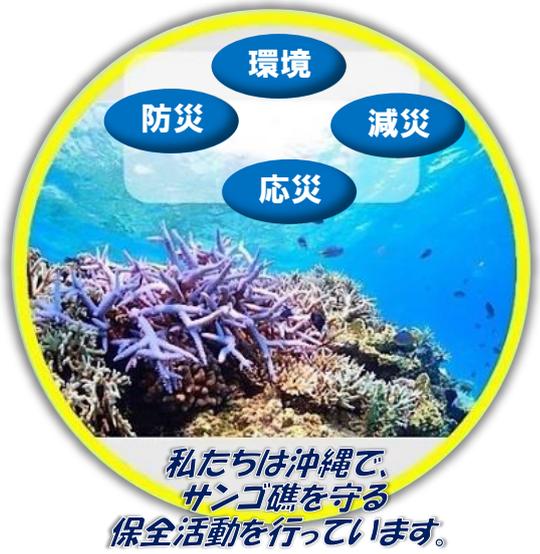
建設業において技術的に必要な問題解決・環境・防災をテーマに、大小の問題に関係なく多くの研究開発を行っています。現在進行中の研究開発は約15件となっています。
(ミズコシタロウ、固まるフレコン、ドライマット)

【環境問題】

約20年前に沖縄でサンゴ礁問題に接しました。「環境に優しい技術」で少しでも貢献できたらと思い、水処理分野などで啓発活動も含めて、この問題に取り組んでいます。
(液薄膜型水質浄化装置)

【防災問題】

災害列島となっている日本で、①人の命を守る防災、②事前に少しでも災害を減らす減災、③災害後の早期復旧対応の応災に、対する製品も開発しております。
(水ピタ、ウォーターレスキュー)



【私たちの羅針盤】

「自分たちにできることを自分たちの周りから始めよう 将来、何かを成し遂げたいなら 今、やらなければならないのです。」

環境分野で初のノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マータイさんの言葉です。

中村建設株式会社
代表者 中村廣義



『災害時におけるドローンの役割』

最近よく耳にする「ドローン」に関してご紹介します。「ドローン」とは無人で遠隔操作により飛行できる航空機のことです。最近では、ホビー用としても使われるなど多くの場面で活用され、よく耳にするかと思えます。例えば、地形測量、農薬散布、配送といった様々な分野で利用されていて、近年注目度が増しているといえます。ドローンを活用するメリットとしては、航空機とは違って小回りが効き、広範囲の空撮が可能、費用も少ないといった点が挙げられます。



そのため特に災害時において、ドローンは本領を発揮します。最近の活用事例では、今年7月に発生した西日本豪雨や先日の北海道の地震による災害現場で使われています。

人が立ち入り困難な場所でカメラを搭載したドローンを飛ばし、被災箇所（土砂崩れ、浸水箇所）の特定や調査等に活用されました。

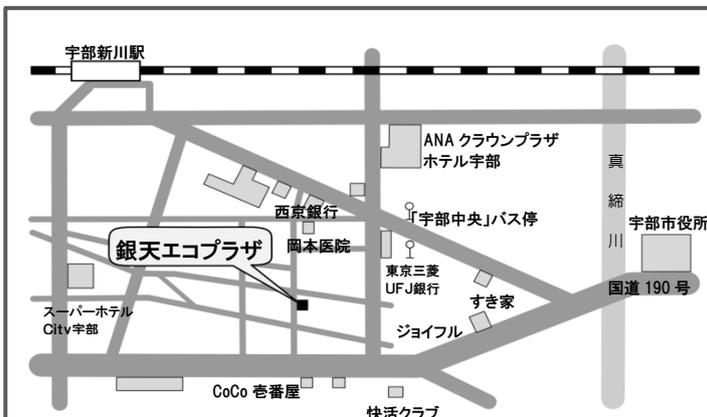
北海道の厚真町では不明者の捜索目的で陸上自衛隊がドローンを運用し人命救助にも貢献しているそうです。災害の多い日本ではドローンの重要性は増すばかりと言えます。

私の所属研究室でも実際にドローン空撮を行い、3次元モデル等を作成し、解析に活用しています。今後もドローンに関してより理解を深めていければと思っています。

松永 晋平 (山口大学 創成科学研究科)



ドローンを操作する様子



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

◇H30.6.1よりメールアドレスが下記の通り変更になりました◇
TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekuru@gmail.com

開館時間 9時～21時 HPアドレス ; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始 (12月29日～1月3日)